No.328

アムSENSI!

～楽しいから身につくを実践～
English＆AdventureCamp

今年も、秋深まる北山少年自然の家にて、古賀英語道場主催の【English＆Adventure　Camp】を思いっきり楽しんできました。今回は、初参加の小学2年生から、このキャンプの常連となる中学2年生まで、計13名が参加。2日間、思いっきり笑って、思いっきり楽しんで、そして思いっきり英語を学ぶ、充実のキャンプとなりました。

11月とはいえ日差しは暖かく、ぽかぽかと最高のお天気。おかげで、外でのアクティビティを存分に満喫！

自然の中を歩きながら、身近なものを英語で覚えていく「フィールドビンゴ」では、チーム一丸となって夢中になって取り組む姿があちこちで見られました。

街中では出会えない豊かな自然に囲まれた北山のフィールドで、開放的に、そして自然に英語に触れられることが、このキャンプならではの魅力。机に向かう“お勉強の英語”ではなく、“楽しいから身につく英語”を全身で感じながら学ぶことができました。

子ども達も、英語が「楽しい！」という感覚を改めて実感したようで、自然と口から英語が飛び出す場面もたくさん。英語を楽しむことを大前提とする古賀英語道場の学びが、この2日間で見事に実践されました。

今回のキャンプは、ここでしか得られない経験を通して、子ども達が大きく成長できたスペシャルな時間となりました。

自然の中で自然と身につく英語と力

天候に恵まれた今回のキャンプ。北山少年自然の家は、終始あたたかな日差しに包まれ、子ども達を優しく抱きしめてくれているようでした。紅葉も進み、ロケーションは最高！　こんな環境で子ども達のテンションが上がらないはずがありません。
集合した子ども達は、朝から元気120％！

　これから始まる2日間へのワクワク感で、いつも以上に弾けるような表情を見せていました。
講師のパトリック先生、そして祥子先生が、子ども達の気持ちをさらに盛り上げる楽しいアクティビティを準備してくださっていたおかげで、朝からのハイテンションはそのまま最初の活動へ。
　初参加の小学2年生も、すぐに笑顔で溶け込み、全員が心から楽しんでいる姿を見て、「このキャンプをやって良かった」という答えが、すぐに返ってきたように感じました。
せっかく自然の中にいるのだから、英語を“お勉強”として教えるのではなく、遊びながら、動きながら、笑いながら、楽しみながら学ぶスタイルで進行。
　全身を使って英語を「楽しんだ」からこそ、子ども達は自然と多くのことを吸収できたのだと思います。

英語を力とすること
～英語を生かすために～

道場の子ども達は、日常的に英語を学習しています。
では、いったい何のために学んでいるのでしょうか。
この目的が明確になることで、これからの英語学習に対する意識は大きく変わっていきます。
英語は“言葉”です。
人と想いを伝え合うための言語であり、言語とは「力」だと考えています。人は誰でも、自分の思いや考えを言葉で伝えますが、どう伝えるかで、その言葉が持つ力はまったく違ってきます。
古賀道場の創設者・古賀武夫先生は、その「言葉の力」において、まさに卓越した存在でした。
自分の紡ぐ言葉で多くの人の心を動かし、想いを形にし、リーダーとして道を切り開いてきました。同じ言葉でも、心を動かす力があるかどうかで、未来は大きく変わります。そう考えると、英語学習とは単なる“言葉の習得”ではありません。自分の中にある一つの「力」を育てることに他なりません。決して、点数を取るためだけのお勉強ではないのです。

今回のキャンプに参加した子ども達は、この2日間で、日本語でも英語でも、とにかくたくさんの言葉を使って自分の気持ちを伝える経験をしてきました。
まだうまく伝わらない場面の方が多いかもしれませんが、この経験こそが、将来必ず訪れる“自分の想いを伝えなければならない時”に、大きな力となって生きてきます。
古賀英語道場は、英語を学ぶ場所であると同時に、生きるために必要な「力」を育てる道場です。
どうか、目先の結果だけにとらわれず、遠い未来にいるこの子どもたちの成長を一緒に思い描きながら、これからも温かいご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

カトリーヌ祥子先生が語るこれからの英語教育についてのコラムを是非読んでみてください。